

水産物の市況について(令和7年6月及び令和7年7月)

—東京都中央卸売市場における令和7年6月(令和7年5月21日～令和7年6月20日集計)の市況と、
令和7年7月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

II 令和7年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

今後、東京への入荷量は横ばいと見込まれるものの、入梅いわしの時期でもあり、末端のニーズが強くなることから、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

夏場にかけて産地の水揚げは低調に推移するとみられ、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

本来なら夏から秋にかけて水揚げが徐々に増加する時期であるが、今後も全般的に低調な漁模様が継続と予想され、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

今後も九州を中心とした水揚げがみられると予想され、東京への入荷量は横ばい、需要期であることから、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

今後、三陸～常磐沖では、低調ながらも徐々にかつお主体の漁獲になると予想され、東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	27	1,524	27	1,508	29	1,541
前年	28	1,424	26	1,437	30	1,403

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	466	112	104	128
さけ類(平均)	1,477	97	120	142
(ぎんざけ塩蔵品)	1,402	96	116	132
(あきさけ塩蔵品)	1,512	137	139	180
(べにざけ塩蔵品)	1,484	89	107	104
(さけ類冷凍品)	1,526	97	124	149
さば(生鮮品)	431	83	85	104
するめいか(平均)	1,170	81	93	149
(生鮮品)	1,142	83	96	152
(冷凍品)	1,651	100	93	143
あじ(生鮮品)	735	95	108	115
まぐろ(冷凍品)	1,903	114	112	117
(めばち冷凍品)	1,136	100	101	102
(きはだ冷凍品)	881	94	62	88
(くろまぐろ冷凍品)	3,343	105	117	108
(みなみまぐろ冷凍品)	2,071	100	114	102
かつお(生鮮品)	945	124	171	182

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:6月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年～令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613